



発行者
諫早市立真城中学校
校長 山内 昇

学校教育目標

- 広い心と公正な判断力のある、情操豊かな生徒を育成する。（徳育）
- 自ら求めて学び、豊かな知性を備え、創造力に富む生徒を育成する。（知育）
- 健康でたくましく、忍耐力に富む生徒を育成する。（体育）

○ 読書を1日30分!

先日、図書支援員さんから、「こんな本があります。面白いですよ!」と紹介されました。「科学的に証明された**すごい習慣**大百科」というタイトルの本です(右写真)。

その中に、「読書を30分する~1日平均30分の読書で学力が向上する」というページがありました。静岡

大学が約200万人の小中学生を対象に調査をした結果、分かったことだそうです。具体的には、読書が好き、と答えたグループ、読書を1日30分から1時間していたグループの方が、学力が高いという結果となったそうです。また、歴史ものなど、マンガを取り入れた本での学習の方が、文字だけの場合より学習効果が高いことが分かったそうです。

本校でも、この10か月で読んだ冊数が200冊を超えている人が1人、150冊以上の方が2人、100冊以上が3人、50冊以上が18人います。そのうち、1年生が17人!!!です。

読書によって、言葉が豊かになり、語彙力や理解力もアップするはず。タイトルにもあるように、1日30分の読書の習慣を身に付けてはいかがでしょうか?

また、この本の中で興味をひかれたタイトルは、

- ・紙で読む・紙に書く
- ・アドバイスをする
- ・ひと笑いしてから取り組む
- ・勉強の前に散歩をする
- ・スマホを近くに置かない
- ・歯磨きでリフレッシュ

です。できることから少しずつ実践して、習慣化していきたいと思います。

この本の巻末の、「たとえ小さな一歩でも、何かを「続けよう」思った時点で、すでに大きな変化が始まっています。

うまくいかない日があっても、大丈夫。ちょっとずつ、ちょっとずつ、前に進めばよいのです。」を大切にしていきたいと思います。



○ 公衆電話の撤去について【お願い】

以前もお知らせしましたように、真城中学校敷地内の公衆電話がなくなりました。これも時代の流れなのだと思います。スマートフォンの普及によって、公衆電話の数が激減しています（93万台⇒10万台以下）。不便を感じている生徒も多いと思います。部活動終了後の待ち合わせ等の日常の連絡については、各ご家庭で事前に確認をお願いしたいと思います。



また、平日の緊急の連絡の際は、職員室の職員に声を掛けてください。学校の電話で対応をします。皆さまのご理解とご協力をお願いします。

○ 今日の給食（1月28日）



28日（水）の給食は、諫早の郷土料理で、**鶏めし**、**ぬっぺ**、**はなはじき**、**黒おこし**、でした。以前の学校だよりで、2年生の調理実習のメニューとしても紹介しました。

鶏めしは、鶏肉の味のご飯によく染み渡っていて、箸が進みました。給食の「炊き込みご飯」はどれも美味しく、楽しみなメニューです。ぬっぺは、10種類以上の食材が入っており、多様な栄養を摂取することができます。はなはじきは諫早の郷土料理で、辛子が鼻に「ツン」と来る、嗅覚を刺激する＝**鼻をはじく**、ことから「**鼻はじき**」という名前になったそうです。

このように、郷土料理の名前の由来を調べるのも面白いと感じます。また、自分のふるさとのことを知ることは、将来、いろいろな場所で生活することになったときに役立つはずで、長崎の特産品や名物・名所などについて、時間があるときに調べてみてほしいと思います。